

■ 連結財務の概況

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
資産の部		
I 流動資産 1	32,452	31,995
II 固定資産	15,340	14,908
（有形固定資産）	14,627	14,032
（無形固定資産）	286	275
（投資その他の資産）	426	600
資産合計	47,793	46,903
負債の部		
I 流動負債	30,790	31,450
II 固定負債	3,097	2,992
負債合計	33,888	34,443
純資産の部		
I 株主資本	13,035	12,451
資本金	31,709	31,709
資本剰余金	26,225	26,225
利益剰余金	△44,848	△45,432
自己株式	△50	△50
II その他の包括利益累計額	862	2
その他有価証券評価差額金	30	43
為替換算調整勘定	2,297	1,564
退職給付に係る調整累計額	△1,465	△1,605
III 非支配株主持分	6	5
純資産合計 2	13,904	12,460
負債純資産合計	47,793	46,903

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨ててにより表示しております。

POINT

1 流動資産

流動資産は、前期末に比べ4億57百万円（1.4%）増の324億52百万円となりました。その主な要因は、材料不揃いによる生産遅延や、原材料価格の高騰、電子部品や樹脂部品の調達難に伴う戦略的な先行手配などにより、仕掛品や原材料および貯蔵品などの棚卸資産が2億7百万円増加したことによるものです。

2 純資産合計

純資産合計は、前期末に比べ14億44百万円（11.6%）増の139億4百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が5億83百万円、為替換算調整勘定が7億33百万円、退職給付に係る調整累計額が1億39百万円それぞれ増加したことによるものです。

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	31,734	30,570
売上原価	26,408	24,455
売上総利益	5,325	6,114
販売費及び一般管理費	4,654	4,721
営業利益	670	1,392
営業外収益	356	99
営業外費用	187	189
経常利益	839	1,302
特別利益	200	472
特別損失	44	-
税金等調整前中間純利益	994	1,774
法人税、住民税及び事業税	214	287
法人税等調整額	196	45
中間純利益	584	1,441
非支配株主に帰属する 中間純利益又は非支配株主 に帰属する中間純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する 中間純利益 3	583	1,441

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨ててにより表示しております。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー 4	1,416	1,735
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,065	△2,650
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△573	△3,135
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	252	71
V 現金及び現金同等物の増減額	30	△3,979
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,763	7,001
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,793	3,022

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨ててにより表示しております。

POINT

3 親会社株主に帰属する中間純利益

電池事業はリチウム電池とニッケル水素電池、電子事業は各種モジュールの売上増による増益はありましたが、為替や原材料価格高騰による減益に加え、前年同期に親会社清算益4億59百万円を特別利益として計上したことや法人税等調整額1億51百万円の増加により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ8億58百万円減の5億83百万円となりました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少12億33百万円や法人税等の支払3億11百万円などによる資金の減少はありましたが、税金等調整前中間純利益の計上9億94百万円や減価償却費の計上11億27百万円、売上債権の減少7億26百万円による資金の増加などにより14億16百万円の資金増加となりました。